

◆自選十五句より

染谷秀雄

荒鋤の田や隅々の薄氷
馬追の髭の揺らぎし火影かな
磨かれて百間廊下寒の内
尾瀬沼に響きてふたつ鳩の笛
広々と家居ふたりや豆を撒く
濃く淹れて三十年の古茶好み
月よくて羽子板市の灯は淋し
七種の小籠すずしろ斜め挿し
初雪のそのまま山の発電所
つぎの風まではらはらと山桜